



1月の園だより



学校法人 志賀学園
平第一幼稚園
認定こども園
令和6年1月9日

あけましておめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。ご家族皆様で過ごされたお正月は、大切な楽しいひとときであったことと思います。

元日の夕方、能登半島で大きな地震が発生しました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。テレビやネットニュースでは衝撃的な映像が流されています。私たち大人でもストレスを感じてしまいます。子どもたちは、大人が思う以上に恐怖を感じ、ストレスを溜め込んでしまうかもしれません。お子様が、お話しをしてきた時には、最後まできちんと聞いてあげたり、抱きしめたり優しくさすってあげたりして安心させてあげてください。子どもの命は、親が守ることを伝えてあげることも大切だと思います。

お正月休みの間、閑散としていたこども園に子どもたちの元気な姿が戻ってきました。1月は、凧揚げやこま回し、カルタや福笑い、羽根つきなどの遊びを楽しみたいと思います。羽根つきには子どもの厄を払う、凧揚げには子どもの願い事をのせて天に届けるといった意味があるようです。今月は、こども園でもこのようなお正月遊びをみんなでやり、昔ながらの遊びを十分に楽しんでいきたいと思います。

また、1月7日は七草でした。春の七草とは、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ（カブ）、スズシロ（大根）です。7日に七草粥を食べると一年間無病息災で元気に過ごせると言われています。お正月に、つい食べ過ぎて疲れた胃腸にとっては優しい食べ物です。これも先人の知恵なのかもしれませんね。

また、11日は「鏡開き」です。神様にお供えをしていた鏡もちを、小槌でたたいて開きます。こども園でも、11日に鏡開きを行う予定です。職員室の神棚にお供えしていた鏡餅を、後日給食の先生に揚げ餅にしてもらい、3歳児以上の子どもたちで食べたいと思います。

さて、理事長先生の年頭の挨拶で来年度の教育方針が提示されました。

4月からスタートする令和6年度の教育方針は、「子どもたちが『好き』なこと、ものに出会える園になろう」です。

保育目標に対して大切なことは、こども第一主義(こどもの笑顔を最優先)

- 1, 子どもたち一人ひとりに愛情をもってかわいがり、そのこどもの育ちをよく理解する
- 2, こどもにも保護者にも安心・安全な環境を整える
- 3, 子どもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる

私たち職員は、この方針を受け子どもたちの喜ぶ姿が見られるよう楽しい環境を設定し、遊びを通して総合的に保育をして参ります。

3学期は一年の締めくくりであり総仕上げの時期です。子どもたちにとって園生活が楽しいものとなるよう、職員一同精一杯努めて参りますので、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

吉竹 芳江